

平成26年度

昭和薬科大学附属高等学校・中学校

後援会会報

発行：平成26年7月 後援会事務局(本校内) TEL 098-870-1852

平成26年度 役員会開催

「昭和薬科大学附属高等学校・中学校後援会」は、附属高等学校の創立20周年を機に、1995年（平成7年）卒業生父母・高校同窓会・PTAで結成され、学校の教育事業を支援する活動を行っています。

後援会では、5月24日（土）午後7時から平成26年度の役員会を開催し、

- ①平成25年度会務報告及び決算 ②監査報告
- ③平成26年度役員 ④平成26年度事業計画及び予算

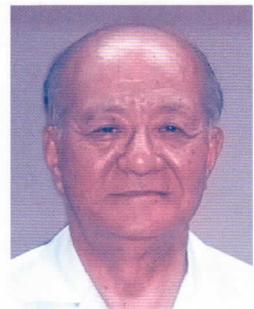
の4議案を全会一致で承認しました。(次頁資料参考)。

平成26年度の活動計画として

- ①奨学金貸与（経済的理由により就学困難な生徒に対し、奨学金を貸与する。年間2人 年額360,000円、3年間）
- ②特別活動援助（県代表として県外に派遣される生徒に対し、援助を行う。）
- ③講演会（生徒の学習意欲を喚起し、進学目標を達成させるためモチベーションを高める講演会を実施する。）

以上3つが確認されました。

平成26年度役員については、下記の通りとなりました。



比嘉幹郎会長



— 平成26年度 後援会役員()は所属 —

- 会 長 比嘉 幹郎 (卒業生父母)
- 副会長 伊禮 正直 (卒業生父母) 新里 守人 (同窓会長) 花城 哲 (PTA会長)
- 理 事 知念 良和 (卒業生父母) 新垣 吉浩 (卒業生父母) 本成 悦子 (卒業生父母)
- 渡慶次 実 (卒業生父母) 小山 師子 (卒業生父母) 宮城 寛清 (卒業生父母)
- 喜納兼次郎 (卒業生父母) 高江洲和男 (卒業生父母) 新城 伸子 (卒業生父母)
- 眞榮田明美 (卒業生父母) 当山 恵子 (卒業生父母) 渡久地若江 (PTA副会長)
- 作田 利和 (PTA副会長) 大田 俊治 (PTA副会長) 吉田 正 (同窓会)
- 又吉まゆみ (同窓会) 又吉 教彦 (同窓会) 新城 正志 (同窓会)
- 玉木 英恒 (職員OB)
- 監 事 赤嶺 秀男 (卒業生父母) 知念 拓 (職員OB)
- 顧 問 宮里 毅 (3代校長) 比嘉 定俊 (4代校長) 安室 肇 (5代校長)
- 稲福 達也 (現校長)



- 事務局 事務局長 北川 隆 (同窓会) 事務局(次長) 根路銘 敦 (同窓会)
- 幹 事 新垣 志信 (教頭)

平成25年度 会務報告及び決算報告

(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

◎収入

	科目	予算	決算
1	入会金	1,200,000	1,550,000
2	寄付金	600,000	600,000
3	奨学金返還	54,000	306,000
4	雑収入	1,000	2,256
5	繰越金	15,052,313	15,052,313
	計	16,907,313	17,510,569

- ※ 入会金（1万円）は、高校卒業時に入会案内をして父母のご協力をお願いしています。
- ※ 寄付金は同窓会・PTAからで、PTAはバザーの収益があげられました。
(平成25年度の寄付金の決算内訳)
同窓会 300,000円 PTA 300,000円

◎支出

	科目	予算	決算
1	運営費	233,000	152,207
2	事業費	15,820,000	900,000
	1 当年奨学事業	1,440,000	720,000
	2 奨学事業基金	13,460,000	0
	3 特別活動援助	520,000	180,000
	4 講演会	200,000	0
	5 渉外費	200,000	0
3	寄付金	500,000	500,000
4	予備費	354,313	5,040
	計	16,907,313	1,557,247

- ※ 平成25年度は奨学生の継続者2名。
- ※ 奨学事業基金は奨学事業の為に積立金です。
- ※ 特別活動援助として、平成25年度は県外の大会等に参加した生徒36名に派遣費（1人5,000円）を援助しました。
- ※ 特別活動援助金（内訳）
高校/剣道部・ヨット・科学部
将棋部・陸上・スクリプリング部
ディベート部
中学/ディベート部

平成26年度 活動計画及び予算

(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

◎収入

	科目	予算
1	入会金	1,200,000
2	寄付金	600,000
3	奨学金返還	162,000
4	雑収入	1,000
5	繰越金	15,953,322
	計	17,916,322

◎支出

	科目	予算
1	運営費	233,000
2	事業費	17,480,000
	1 当年奨学事業	1,440,000
	2 奨学事業基金	15,120,000
	3 特別活動援助	520,000
	4 講演会	200,000
	5 渉外費	200,000
3	寄付金	0
4	予備費	203,322
	計	17,916,322

- ※ 支出の当年奨学事業は、奨学生2名の継続と今年度の新規枠2名分が予算化されています。



▲特別活動援助金交付式

後援会活動報告

昨/年/度/の/活/動//////////

●生徒への特別活動援助金〔個人・団体〕

【高校部活動】

1. 陸上 2位 全九州高等学校体育大会派遣1名
2. ヨット 1位 全九州高等学校体育大会派遣1名
3. 将棋部 優秀な成績 全国高校総合文化祭派遣3名
4. 科学部 優秀な成績 全国高校総合文化祭派遣2名
5. 剣道部 男子(個人3位) 女子(個人5位)
全九州高校体育大会派遣3名
6. スクリプティング部 予選通過
全国高校漫画選手権大会派遣5名
7. ディベート部 優秀な成績
全国中学・高校ディベート選手権派遣6名
8. 剣道部 男子(団体3位・個人5位) 女子(個人5位)
九州高校選抜剣道大会派遣9名
9. 将棋部 優秀な成績 全国高文連将棋新人大会派遣2名

【中学部活動】

1. ディベート部 優秀な成績
全国中学・高校ディベート選手権派遣4名

●40周年記念事業支援

後援会は、昭和薬科大学附属高校創立40周年記念事業を支援するため、平成21年度からの積立金を寄付しました。

これからも、薬科大附属高校・中学のために積極的に協力、支援してまいりたいと思っています。



後援会奨学生募集

財団法人沖縄県国際交流・人材育成財団(旧日本育英会)などが運営する公的な奨学金制度は、高校生を対象としていて、中学生への貸与は行われません。その点、後援会の奨学金制度は、中学生も対象としているのが特徴です。他の奨学資金との併用はできませんが、中学生の間は後援会の制度を利用し、高校生になったら返済期間が長い公的な奨学金制度へ切り替えることもできます。平成25年度までに10名の生徒が後援会の奨学金制度を利用しています。希望者は、学級担任を通して新垣教頭に相談して下さい。

後援会の沿革

1993年(平成5年)

高校同窓会の呼びかけで、卒業生父母とPTAの三者により「創立20周年記念会館建設期成会」(比嘉幹郎会長)を結成。

1995年(平成7年)

創立20周年記念会館が落成し(総工費約5千万円)学校へ寄贈する。目標を達成した「建設期成会」は、引き続き学校の教育目標達成に必要な支援を行う為に、「昭和薬科大学附属高等学校・中学校後援会」(比嘉幹郎会長)として再編・発足する。

2002年(平成14年)

奨学事業と生徒の特別活動援助事業を開始。また、高校創立30周年記念事業に向けて「創立30周年記念事業期成会」を結成し、資金造成に協力する。

(2004年資金造成目標を達成 30,139,005円)
○生徒の県外派遣へ計270,000円補助

2004年～2007年(平成16年～19年)

この年度に会則一部改正

(従来の「卒業生父母の会」を発展解消し、卒業生の父母は直接後援会へ入会することになった)

○奨学金 貸与
○生徒の県外派遣

2008年(平成20年)

○生徒の県外派遣へ計710,000円補助
○生徒対象講演会協賛

2009年(平成21年)

○生徒の県外派遣へ計420,000円補助
○生徒対象講演会
○40周年記念事業のための募金

2010年(平成22年)

○生徒の県外派遣等計360,000円補助
○40周年記念事業のための募金

2011年(平成23年)

○生徒の県外派遣等計295,000円補助
○生徒対象講演会
○40周年記念事業のための募金

2012年(平成24年)

○生徒の県外派遣等計320,000円補助
○生徒対象講演会
○40周年記念事業のための募金

2013年(平成25年)

○生徒の県外派遣等計180,000円補助
○40周年記念事業のための募金